

社会資本整備審議会 道路分科会 第22回北海道地方小委員会

議事概要

1. 日 時 令和元年12月11日（水）10時30分～12時00分
2. 場 所 TKPカンファレンスセンター カンファレンスルーム3C  
（札幌市北区北7条西2丁目9）

3. 出席者

[委員長]

田村 亨 北海商科大学 教授

[委員]

片石 温美 中央大学研究開発機構 教授（客員）

加藤 由紀子 北海商科大学 教授

高橋 清 北見工業大学 教授

平岡 祥孝 札幌大谷大学 教授

山崎 幹根 北海道大学大学院 教授

4. 議 事

- (1) 計画段階評価について 日高自動車道 静内～三石 第1回目

【委員からの主な意見】

- ・国内有数の競走馬の産地であり、道路が整備されると競走馬の輸送にどう役立つのか関係団体へ丁寧にヒアリングすべき。
- ・十勝圏では帯広・広尾自動車道の整備も進んでおり、計画段階評価の対象区間だけでなく、これらの道路ネットワークも含めどう活用していくべきか、意見聴取に際して考慮すべき。
- ・地域の課題解決という視点だけでなく、地域の目指す将来像を具体化できるよう意見聴取を進めるべき。例えば、日高地域には付加価値の高い水産品等が多くあるので、それらの産品をその日の内に国内や海外の消費地へ届ける等の将来像も考えられるのではないか。
- ・津波等の課題を踏まえると山側に別線整備を行うルート等が考えられるが、費用対効果だけでなく、地域公共交通の確保や代替性の確保等、整備効果をしっかり見せていくことが重要。
- ・今後のルート検討に際してヒントになるような意見をいただけるよう、聞き方を工夫していくと良いのではないか。

- (2) 計画段階評価について 旭川・紋別自動車道 遠軽～上湧別 第1回目

【委員からの主な意見】

- ・札幌発着で花回遊ルートを目帰り周遊している外国人観光客もいるため、関係団体へのヒアリングでは外国人観光ルート等も把握できると良い。
- ・旭川・紋別自動車道はオホーツク圏域のみならず、道東地域全体にとっても重要な道路ネットワークであり、広域的な利用についても把握できるよう意見聴取時には検討すべき。
- ・計画段階評価の対象区間は約11kmと短いですが、道路ネットワークとして考えた場合、市街地部の冬期における吹雪等、大きな課題があり、重要な区間。災害時の課題は、洪水浸水だけでなく、吹雪の観点も追加すべき。
- ・道路ネットワークの延伸により、都市間バスの便数が増えたり、都市間バスと路線バスの接続が図られたりする等、地域の交通体系が変化することも考えられるため、地域意見聴取ではそのような視点も考慮すべき。

#### 【委員長による総括】

- ・本日の意見を踏まえたうえで、地域意見聴取を進めていただきたい。

以 上